

前年比4倍の1700棟に拡大

技術証明取得で普及見込む

ハイアス

環境対応型の地盤改良工法

住宅・建設会社経営支援のハイアス・アンド・カンパニー（東京都港区）は、全国の施工代理店125社を通して住宅建設会社やハウスメーカーに提供する環境対応型の住宅向け地盤改良工法「HY SPEED（ハイスピード）工法」の普及速度を引き上げる。大手ハウスメーカーなどが工法採用の条件とする建設技術性能証明書を昨年12月に取得したことで商機が拡大。消費者の環境意識の高まりもあり、住宅会社側でも受注促進の一手法として環境性能に優れた地盤改良工法に対する関心が高まると見込んだ。09年度は前年度比約4倍の1700棟での採用を見込むが、10年（1～12月）はさらに2倍強の3800棟に引き上げる計画だ。

掘削改良でコスト抑える

埋設物問題も回避可能

ハイスピード工法は、地盤改良で一般的なセメント系固化材や鋼管杭に代わって、天然の砕石を土中に埋め込むことにより地盤を締め固める砕石パイル工法の一つ。セメントから溶け出す可能性のある六価クロムの発生を防ぐことや、将来の土地売買時にセメント杭や鋼管を地中から撤去する必要がなくなるため、土壌汚染リスクと並んで土地評価に影響する埋設物問題も回避しながら地盤が改良できる。セメントや鉄（鋼管）を製造する際に発生するCO₂を削減できる環境性能も同社が掲げる同工法の優位性の一つ。地盤

改良に天然砕石を使うことにより、09年11月までの施工実績で1万トンを上回るCO₂削減効果を上げたという。従来の砕石パイル工法はコスト高がネックになっていたが、掘削手法の改良によって価格競争力も持たせた。昨年12月に（財）日本建築総合試験所の性能証明（建築面積1000平方メートル以下）を取得したことで、今後はこれまでの主力取引先だった地域の住宅会社だけでなく、注文住宅を手掛けるハウスメーカーやアパート専門メーカーといった大手への採用も働きかける。性能証明の取得により、建築確認申請の手続きが簡略化されることや、構造計算適合判定の対象となる建築物での採用も可能になったことも、同工法の普及速度引き上げを見込む背景。証明取得を機に、すでに大手ハウスメーカーなどからの問い合わせが入り始めている。さらに、消費者の環境志向の高まりを背景に、

受注不振に悩む地域の住宅会社の間で同工法の採用機運が向上。エコ仕様の地盤改良を使った住宅建設を消費者向けに働きかける同社運営のサイトに登録する住宅会社数は400社を突破した。同社が施工代理店とともに住宅会社向けに開く共同セミナーでは、回答者の9割が「同工法が住宅営業の差別化につながる」と答えるなど、環境に配慮した地盤改良工法を受注促進ツールの一つとしてとらえる傾向が強い。同社でも住宅会社が消費者向けに使うパンフレットや営業トークマニュアル集といったツールの提供を積極化している。

同社では今後も住宅会社が使う販促ツールの充実を図りながら、今年10月までにサイトに登録する住宅会社数を1000社まで引き上げたいとしている。

掘削改良でコスト抑える
埋設物問題も回避可能

性能証明の取得により